

第13回死刑映画週間

喪失と悲しみ、そして赦すこと

映画 (監督 制作年) × 語る人 (一回限り、裏面参照)



© 2020 7 ECCLES STREET LLC

『対峙』

(フラン・克蘭ツ 2021) × 片山徒有



© 2022 「ある男」制作委員会

『ある男』

(石川慶 2022) × 井上淳一



© Aloms & Void

『キエフ裁判』

(セルゲイ・ロズニツァ 2022) × 池田嘉郎

『私、オルガ・ヘプナロヴァー』

(トマーシュ・ヴァインレプ&パトル・カズダ 2016) × 栗林佐知

©2016 BLACK BALANCE, MEDIA BRIGADE, ALEF FILM&MEDIA, LOVEFRAME, FRAME 100R, ODBA-FILM, SPOON, BARRANDOV STUDIOS, ARIZONA PRODUCTIONS.

「それでも死刑は必要？」と問う。
親しき人を亡くせば、人は深い悲しみを抱く、
まして殺されれば、喪失感はどれほどか？。
アメリカ、銃乱射で人が殺される。
日本、死刑になりたい殺人で人が殺され、
人を殺していない袴田巖さんはいまだに冤罪死刑囚。
喪失と悲しみ、赦すことを描く上映7作品は、



© 日活

『青春を返せ』

(井田深 1963) × 太田昌国



© Kimoon Film

『袴田巖 夢の間の世の中』

(金聖雄 2016) × 新田涉世



© December Production Committee

『赦し』

(アンジュル・チョウハン 2022) × 牧田史



2024年2月10日(土)~2月16日(金)

渋谷 ユーロスペース
東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 3F

A 『ある男』



2月10日(土) 11:00
11日(日) 19:00
13日(火) 19:00
15日(木) 16:00

©2022 「ある男」製作委員会

監督=石川慶

2022年/日本/121分

原作=平野啓一郎 脚本=向井康介

出演=妻夫木聡 安藤さくら 窪田正孝

【物語】里枝は谷口大祐と再婚し幸せに暮らしていた。だが大祐は事故で他界し、それがきっかけで彼が全くの別人だったことが判明する。弁護士・城戸章良は大祐の本当の正体を追うが、そこから明らかになる隠された事実とはいったい…。

B 『私、オルガ・ヘプナロヴァー』



2月10日(土) 13:30
12日(月) 19:00
14日(水) 11:00
16日(金) 16:00

©2016 BLACK BALANCE, MEDIA BRIGADE, ALEF FILM&MEDIA, LOVE FRAME, FRAME 100R, ODRÁ-FILM, SPOON, BARRANDOV STUDIOS, ARIZONA PRODUCTIONS.

監督・脚本=トマーシュ・ヴァインレブ パトル・カズダ

2016年/チェコ・ポーランド・スロバキア・フランス/105分

原作=ロマン・ツィーレク 出演=ミハリナ・オルシャニスカ マリカ・ツポスカ

【物語】オルガは1973年にブラハのトラム停留所にトラックで突っ込み、8人を殺害した。二年後ブラハのパンクラーツ刑務所で絞首刑となる。チェコスロバキアで死刑執行された最後の女性となったオルガ。その犯行までの軌跡が描かれる。

C 『キエフ裁判』



2月10日(土) 16:30
12日(月) 11:00
13日(火) 13:30
15日(木) 19:00

©Atoms & Void

監督・脚本=セルゲイ・ロズニツァ

2022年/オランダ・ウクライナ/106分

【物語】1946年1月17日と18日の二日間キエフ(キーウ)で開かれたナチス犯罪者を裁く裁判のドキュメンタリー作品。国立公文書館に保管した映像を編集した作品。死刑の宣告をされたナチス犯罪者はカーニオン広場に連れ出される、そして…。

第13回 死刑映画週間

喪失と悲しみ、そして赦すこと

上映作品

E 『対峙』



2月11日(日) 11:00
12日(月) 16:30
14日(水) 19:00
16日(金) 13:30

©2020 7 ECCLES STREET LLC

監督・脚本=フラン・克蘭ツ

2021年/アメリカ/111分

出演=リード・バーニー アン・ダウト ジェイソン・アイザックス マーサ・プリンプトン

【物語】アメリカの高校で起こった銃殺事件の加害者と被害者の両親が、小さな教会の片すみで直接会う。「お元気ですか?」から始まる会話は、時限爆弾を抱えたようにすすんでいく。話し合いの末、最後に4人が流れ行く先にはなにが…。

F 『赦し』



2月11日(日) 13:30
13日(火) 16:00
14日(水) 13:30
16日(金) 11:00

©December Production Committee

監督=アンシュル・チョウハン

2022年/日本/98分

脚本=ランド・コルター 出演=松浦りょう 尚玄 MEGUMI 生津徹 真矢ミキ

【物語】7年前に愛娘をクラスメイトに殺害された樋口のもとに、加害者・夏奈の再審開始の通知が届く。夏奈の釈放を阻止するために証言台に立つ樋口。法廷では夏奈の口から彼女が殺人に至った本当の動機が明かされていき、新たな展開に…。

G 『青春を返せ』



2月11日(日) 16:30
13日(火) 11:00
15日(木) 13:30
16日(金) 19:00

©日活

監督=井田深

1963年/日本/94分

出演=芦川いずみ 長門裕之 芦田伸介 田代みどり 高田由美 清水将夫 太滝秀治

【物語】殺人事件の罪で敦子の兄益夫が逮捕され、死刑の判決を受けた。敦子は兄の無実を信じ、その解決のために奔走する。一の瀬弁護士の協力のもと、最高裁に持ちこみついに差し戻し審となる。その結果、益夫の無罪は勝ち取ることができるのか。

◆各回入れ替え制

*一部の作品の画・音に不備がある場合もありますので、ご了承ください。
*やむを得ない事情により作品及び上映時間が変更される場合がございます。

10日(土)	11日(日)	12日(月)	13日(火)	14日(水)	15日(木)	16日(金)
A 11:00	B 11:00	C 11:00	G 11:00	B 11:00	D 11:00	F 11:00
B 13:30	F 13:30	D 13:30	C 13:30	F 13:30	G 13:30	B 13:30
上映終了後トーク			F 16:00	D 16:00	A 16:00	B 16:00
栗林佐知	牧田史	新田渉世	A 19:00	E 19:00	C 19:00	G 19:00
C 16:30	G 16:30	E 16:30	上映終了後トーク			
D 19:00	A 19:00	B 19:00	井上淳一	片山徒有	池田嘉郎	太田昌国

ゲスト紹介: 栗林佐知=小説家/牧田史=弁護士/新田渉世=日本ボクシング協会理事/井上淳一=映画監督
片山徒有=被害者と司法を考える会代表/池田嘉郎=ロシア近現代史研究者/太田昌国=評論家

協力: 株式会社彩プロ/クレプススクール フィルム/松竹株式会社/株式会社トランスフォーマー/日活株式会社/Kimoon Film/サニーフィルム

入場料金

一般1,500円/大学・専門学生1,300円/シニア1,100円/
会員1,100円/高校生800円
前売券 5回券4,500円/3回券2,800円/1回券1,000円

ユロスペース劇場HPでは3日前から各回開始1時間前まで座席指定券が購入できます(各種クレジットカードのみ、詳しくはユロスペース劇場HPを確認ください)。前売券は3日前より劇場窓口にて座席指定券とお引き換えできます。オンラインにてご利用はできません。



ユロスペース 渋谷区円山町1-5 (渋谷・文化村前交差点左折) TEL. 03-3461-0211
<http://www.eurospace.co.jp/>